

アドプトフォレストへの取り組み

平和堂は地域になくってはならない
企業を目指します



2024年4月16日
株式会社 平和堂
サステナビリティ推進室

会社概要 Profile

創業日	1957年（昭和32年）3月1日
設立	1957年（昭和32年）6月18日
代表者	代表取締役 社長執行役員CEO 平松正嗣
資本金	116億1437万円（2023年2月20日現在）
所在地	滋賀県彦根市西今町1番地
株式上場	東京証券取引所 プライム市場
業務内容	食料品・衣料品・住居関連品等の総合小売業
事業所	平和堂店舗 156店 （滋賀74、福井6、石川7、富山2、京都18、大阪22、兵庫3、岐阜7、愛知17） 本部、多賀流通センター、久御山流通センター 丸善・エール店舗 8店（滋賀6、京都2）

平和堂のサステナビリティ 地域の皆様とともに豊かな未来へ

|| サステナビリティ・ビジョン

100年企業に向けて。
平和堂グループは、事業を通じた
「地域社会の課題」・「地球規模の課題」の解決と
グループの成長の両立を目指します。

お客様と地域社会に貢献するために、
私たち平和堂は、すべての部署・グループにおいて、
様々な社会・環境課題に積極的に取り組み、
持続可能な未来の実現に向けチャレンジします。



平和堂グループのサステナビリティ・ビジョン

100年企業に向けて。 平和堂グループは、事業を通じた「地域社会の課題」・ 「地球規模の課題」の解決とグループの成長の両立を目指します。

世界では、地球温暖化に伴う気候変動によって、気象災害が多発化・激甚化しています。さらに、海洋プラスチックなど廃棄物による環境汚染も深刻化するなど、地球環境は危機的な状況に陥っています。また、環境以外でも、貧困や人権問題、高齢化、地域産業の後継者不足など多岐にわたる課題に直面しています。このような状況下で、企業においても持続可能な社会の実現に向け、社会的責任を積極的に果たすことが求められています。平和堂グループは「100年企業」を実現するために、すべての部署・グループにおいて、課題意識を持ち、サステナビリティに取り組みます。

地域社会・地球規模の課題

E 環境

- ・気候変動
- ・水環境の汚染
- ・廃棄物による環境汚染
- ・資源採取による自然破壊
- ・生物多様性・生態系の破壊

S 社会

- ・寿命と健康寿命の差縮
- ・高齢者の単独世帯の増加
- ・少子高齢化
- ・生産人口の減少
- ・後継者不足
- ・地域産業の空洞化
- ・地域交流の場の喪失
- ・地域文化の消滅
- ・地域社会を越えた学びの機会の喪失
- ・子育て環境の整備
- ・魅力ある職の減少
- ・ダイバーシティへの奉獻
- ・食の安全・安心の確保
- ・商品の非トレサビリティ
- ・食料不足・食料危機
- ・化石燃料などの資源の枯渇
- ・社会インフラの老朽化

企業における課題

G 企業統治

- ・災害リスク
- ・サイバーリスク
- ・個人情報保護リスク
- ・感染症リスク
- ・コンプライアンス違反
- ・企業統治・内部統制の不備
- ・不公正な事業執行

5つの重要課題

「地域の健康」の実現

「地域の健康」とは、「地域の人の健康はもとより、地域産業や文化などの活動が活発で地域経済が循環しており、地域全体が元気な状態」と考えています。その中でも特に「健康」「子育て」「高齢者」をテーマに様々な取り組みを進めています。

廃棄物の削減と資源循環の推進

商品ロス対策/ プラスチック廃棄物の削減/
什器・資材・設備などのリサイクル・リユース

脱炭素社会の実現

店舗設備・配送等におけるCO₂排出量削減/
調達における配慮

安全・安心で持続可能な商品の調達

環境や人権などに配慮した仕入れ商品・
資材・設備・什器などの調達

多様な人材の活躍

女性活躍推進/外国人・障がい者、LGBTQなどへの配慮

重要課題の見直しを実施し、ステークホルダーのみなさまによりわかりやすくお伝えするために表題を変更しました。(2023年5月)

理念の実現

平和堂グループ憲章

全従業員の物心両面の幸福を
追求するとともに、お客様と地域社会に
貢献し続ける企業となる

ありたい姿

グループの雅熟的な成長により、
関わる人すべての豊かな暮らしを実現している。

地域の社会課題の解決に貢献するとともに、
新たな価値を創造し、提供している。

環境への負荷軽減により、
次世代に安全安心で安定した
社会基盤を継承している。



「はとっぴー」



平和堂グループ憲章

しあわせ

全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、
お客様と地域社会に貢献し続ける企業となる

社是

商業を通じて豊かな暮らしと文化生活の向上に貢献し、
より多くの消費者になくてはならない店になる

5つのハトのお約束

1. 奉仕のハトは、お客様へのサービスを第一とします
2. 創造のハトは、よい品を販売します
3. 感謝のハトは、お取引先との信用を重んじます
4. 友愛のハトは、みんなの幸せを築きます
5. 平和のハトは、地域社会のためにつくします

地域社会のためにつくします

平和堂は、地域社会の一員として、よりよい社会をつくるための取組みに注力し、「環境」と共存する会社を目指しています。

平和の森づくり

2007年より生物多様性保全の一環として、平和堂グループ社員とその家族を対象にボランティア参加によって始まりました。





台風被害による倒木を遊歩道の
整備などの再利用



間伐材を使った
木工クラフト体験



平和の森づくり

参加者の
サステナビリティ意識の
醸成につながるプログラムに変更



午前：屋外活動



午後：屋内研修

何故サステナビリティ
を推進するのか？



午後：屋内研修

自ら考える



京阪地区の拠点に

福井県

岐阜県

彦根

滋賀県

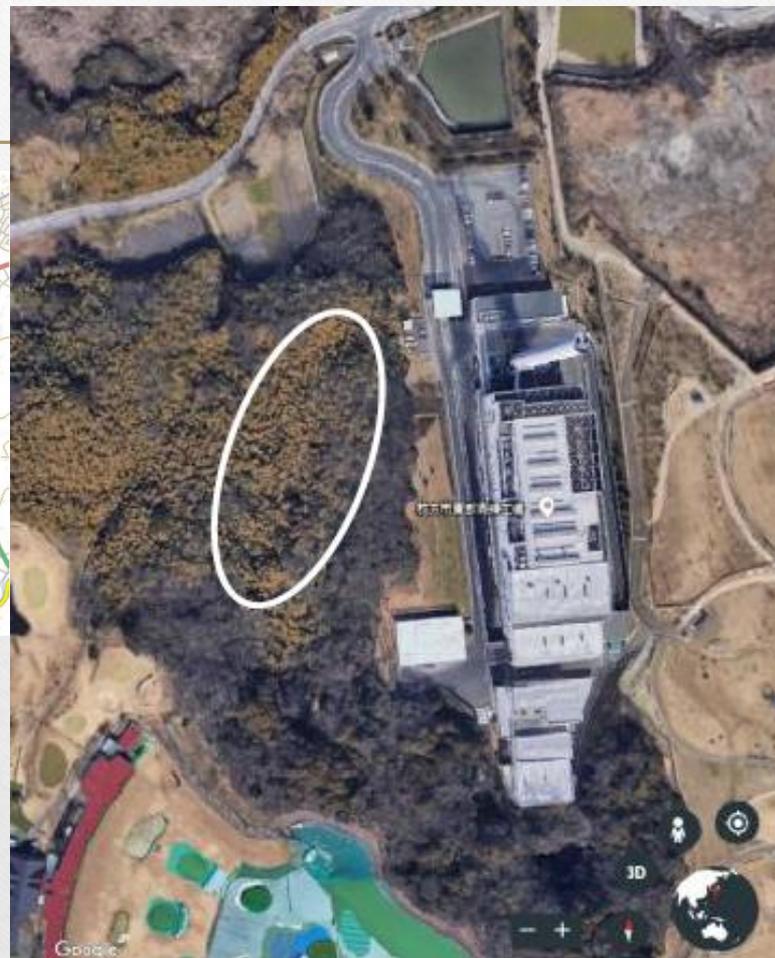
大阪府

滋賀県 東近江市
平和の森 東近江

活動予定地



枚方市大字尊延寺2949番地
面積 約 0.4 ヘクタール



美しい里山林に再生するため
～今後の活動内容～

下草刈りや遊歩道整備のほか、
植樹、間伐、間伐材の活用等
を行っていきます。